

# 表象文化論学会

## 第6回研究発表集会

2011 11月12日<sup>土</sup>  
10:00 → 18:00

午前  
10:00 - 12:00

研究発表

### 1 | 20世紀アメリカの美術とその言説 (司会) 佐藤良明

コラボレーションルーム1

アルヴィン・ラングドン・コバーンとヘンリー・ジェイムズ —— 写真の抽象化と金融都市ニューヨークの摩天楼 調文明 (東京大学)

アメリカンモダニズムと触覚的「真実」—— ローゼンバーグ、ウィリアムズ、ステューグリッツ 高村峰生 (東京大学)

ギンギラギンにさりげなく —— アンディ・ウォーホルの銀 井上康彦 (東京藝術大学)

研究発表

### 2 | 映像の生成論 (司会) 松浦寿輝 (東京大学)

コラボレーションルーム2

マルセル・オフェルス『悲しみと哀れみ』における理髪行為の描写とその映画史的記憶について  
—— C・ランズマン『シヨアー』との比較を中心に 岡田尚文 (学習院大学)

まなざしの罫 —— 現代3D映画をめぐる 石橋今日美 (東京工科大学)

『彼岸花』『秋日和』における作家里見淳の役割 宮本明子 (早稲田大学)

研究発表

### 3 | 芸術のフレーミング (司会) 森元庸介 (東京外国語大学)

メディアラボ2

イリヤ・カバコフ作品における〈ゴミ〉と〈コレクション〉 藤田瑞穂 (京都芸術センター/大阪大学)

〈近代の神話〉の視覚化 —— ハラルト・ゼーマン企画〈独身者の機械〉展をめぐる 河田亜也子 (東京大学)

物語文の中の詩について 串田純一 (東京大学)

午後 I  
13:30 - 15:30

研究発表

### 4 | 科学の想像力と生/死の表象 (司会) 門林岳史 (関西大学)

コラボレーションルーム2

刷り込まれた性 —— 対極的社会脳仮説はいかにパフォーマンス研究に展開されるのか 齋藤尚大 (横浜カメリアホスピタル)

メスメリズムという文化 奥村大介 (慶應義塾大学)

生と死のリアリティ —— 映画『私のなかのあなた』をめぐる 今村純子 (慶應義塾大学)

研究発表

### 5 | 身体という舞台 (司会) 木下千花 (静岡文化芸術大学)

メディアラボ2

雨に〈打たれる〉こと —— 『七人の侍』試論 恩地元子 (東京芸術大学)

鈴木忠志『世界の果てからこんにちは』(SCOT Summer Season 2011)の表象する世界 加藤裕明 (北海道大学)

1980年代の中国におけるダンス・ブームと文化翻訳 劉文兵 (東京大学)

企画パネル 来たるべき啓蒙のヴィジョン —— 大橋完太郎『デイドロの唯物論』を読む コラボレーションルーム1

大橋完太郎 (神戸女学院大学) + 田口卓臣 (宇都宮大学) + 國分功一郎 (高崎経済大学) (司会) 宮崎裕助 (新潟大学)

午後 II  
16:00 - 18:00

全体パネル

カタルシス  
災厄の記録と表象 —— 3・11をめぐる

コラボレーションルーム1

中谷礼仁 (早稲田大学) + 畠山直哉 (写真家) [予定] (司会) 佐藤守弘 (京都精華大学)

京王井の頭線 駒場東大前駅 下車

東京大学 駒場キャンパス 18号館 コラボレーションルーム1,2 / メディアラボ2

事前予約: 不要 参加費: 会員無料 / 当日会員1,000円

(非会員の方は当日会員としてご参加いただけます)

問い合わせ先:

表象文化論学会事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科 表象文化論研究室内

FAX 03-5454-4336

E-mail repre@repre.org URL http://www.repre.org